

議会改革推進会議「検討部会」会議録

令和7年8月18日

亀山市議会

議会改革推進会議「検討部会」会議録

- 1 開催日時 令和7年8月18日(月) 午前9時58分～午前11時16分
- 2 開催場所 第1・2・3委員会室
- 3 出席会員
部 会 長 福 沢 美由紀
副 部 会 長 今 岡 翔 平
部 会 員 古 田 吉 昭 櫻 木 善 仁 森 美和子
会 長 岡 本 公 秀
副 会 長 森 英 之
- 4 欠席会員 なし
- 5 事務局 議会事務局長 大 泉 明 彦 議事調査課長 新 山 さおり
書 記 山 北 康 仁
- 6 案 件
1. 第101回検討部会の確認事項について
2. 議会改革白書2025への掲載内容の確認について
3. 議題
 (1) 子ども議会の実施について(検討課題47)
4. その他
- 7 経 過 次のとおり

午前9時58分 開 会

○部会長（福沢美由紀君） 皆さんおはようございます。暑い中お集まりいただき、ありがとうございます。

ただいまから第102回議会改革推進会議検討部会を開会いたします。

それでは、まず事項1. 第101回検討部会の確認事項について、カルテへ追記しましたのでご確認いただきたいと思います。

内容について、事務局より説明をお願いします。

お願いします。新山課長。

○議事調査課長（新山さおり君） それでは、資料1をご覧ください。

子ども議会の実施についてのカルテでございます。

4ページになります。

こちら5月に開催した学校説明会の報告のほか、中学生議員との発言通告書の作成の関わり方について確認したということで、6月20日の第99回検討部会と、あと6月23日の第44回議会改革推進会議で確認していただきました。決定ということで記載をしてございます。以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） 説明は終わりました。

何かありましたらご発言をお願いします。

（「なし」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） ないですね。では、このように更新をいたします。

次に、事項2. 議会改革白書2025への掲載内容の確認についてでございますが、今回は掲載する事項はありませんでした。

次に、事項3. 議題に入ります。

子ども議会の実施について（検討課題47）でございます。

まず、各中学校から一般質問の通告書が提出されました。資料2のとおり、質問順に整理しておりますのでご確認ください。

質問する際には、1人ずつ質問席へ登壇して質問していただきます。

なお、質問の際、資料を使う議員が5人見えまして、中部中学校の西村友那さん、山尾柊歌さん、山崎莉子さん、亀山中学校の森 瑛都さんがパネルを使用し、関中学校の西川星菜さんが画像データを使用して質問します。中部中学校はパネルの提示は担当の先生が行い、亀山中学校の森 瑛都さんは自分でパネルの提示をします。また、関中学校の西川星菜さんは、モニターに表示するようその場で指示していただきます。

次にアンケートですね、資料4。

前回こういうことを足したらいいよねということでちょっとご協議いただいたので、ちょっと足して作らせていただいたところですが、特に中学生用、見ていただいたら分かると思うんですけど、中学生用のところで足したのは問4. 発言通告書など、質問の作成について議員が関わったことについてお聞きしますという問題ですね。あとは、問9. 昼食意見交流会について、満足していますかという部分ですね。これが足されました。

よろしいですかね。何かご意見があれば。

はい、どうぞ。櫻木委員。

○部会員（櫻木善仁君） 全体の中で、保護者へのアンケート案のところなんですけど、傍聴してよかった点ということで、もしかして傍聴しない方が回答されることもあるんじゃないかなというふうに思うんですけど。

○部会長（福沢美由紀君） 来ていただいた方に、前は読み取るやつをこうやって渡して、傍聴に来られた方に。

櫻木委員。

○部会員（櫻木善仁君） 傍聴に来た人対象ということでいいですか。

○部会長（福沢美由紀君） 対象に渡してとしたように思うんで、そうじゃなかったですか。そうでしたね。

櫻木委員。

○部会員（櫻木善仁君） 前はそうやってしたんやけど。

○部会長（福沢美由紀君） 今回どうするかということは確認していませんので。

ほかの方からもいただきたいみたいなことですか。

櫻木委員。

○部会員（櫻木善仁君） そう、できたら何か、例えば来てはいないけど、子どもたちがこの議会に参加することになって家族で相談したとかそんなことがあれば前向きかなあと思って、ちょっと意見です。

それともう一点。

今回は、前回もそうだったんですけど、中学生議会のアンケートなんで市議会に対する意見とか要望があれば記入くださいというのはないほうがええかなあというふうに思ったんですけど。

○部会長（福沢美由紀君） 前は入っていたということと、あと中学生議会というのは広聴機能ということも一つあるよねということで始まっていることもあったので入っていたと思うんですけど、確かに何を聞かれているのかとちょっと頭でもう一遍考え直さなあかんという感じはせんでもないなあとは思います。

皆さんいかがですか。まずは整理しましょうか。

親御さんたちへの問いは、前は来てもらった方にお聞きしていた。でも、親として都合で行きたいけど来られない人もあったりとか、そうやって家庭での取組とかをもしかしたら出してもらえたらということなんですよ、櫻木部会員のご意見は。

どうやろう、家庭で取り組んだということやとやっぱり質問をした方のご家庭ということになりますね。

櫻木委員。

○部会員（櫻木善仁君） 多分そうです。

○部会長（福沢美由紀君） そうですね。

櫻木委員。

○部会員（櫻木善仁君） 特にこだわっているわけじゃないので。

もう一点だけです。

学校の先生のアンケートは前回も出しましたが、記述式にするといっぱい書く人はいっぱい書いてくるけど、もう書いてこない人はあんまり書いてこないんで、まず評価をしてもらって、例えば学

校説明会について、よかったか悪かったかということを問うてやね。

○部会長（福沢美由紀君） 学生と一緒にですか。

櫻木委員。

○部会員（櫻木善仁君） そう、その後ろに、何かご意見がございましたら記述してくださいというふうにしたほうがと。

第1段階で答えておいてそれで終わりの先生もおるかもしれないので、もうそれで一旦終わっておいて、いやいやもっと言いたいんやという人は、その後ろに記述でばあつと書いてくださいというふうにしたらどうでしょうかという提案です。

○部会長（福沢美由紀君） よかったとかあまりよくなかったとかいう1、2、3みたいなやつをつけるのは、学校説明会についてと、ここで議員が関わったことについても、これもそう。

あとはどうですかね。

この問4もそうですか、中学生議会がよかったかどうかという漠とした評価をいただきますか。

そういうことについては皆さんどうですか、子どものアンケートと同じような感じで、一旦集計しやすいようなものを入れていくというのでいいですかね。

よろしいですか、そこはオーケーということで。

今岡副部会長。

○副部会長（今岡翔平君） すみません、保護者へのアンケートなんですけど、これはもう一回確認なんですけど、傍聴に来た人にしか回収できないものですか。

○部会長（福沢美由紀君） というか、傍聴に来た方にアンケートをお願いしますと渡していた。昨年は。

今岡副部会長。

○副部会長（今岡翔平君） そういうことですよ、なるほど。

それで櫻木委員はやるとしたら、あれはでも、そうか、子どもが参加しておるけど現場には来ていない保護者さんからもアンケートを取りたいということですかね。

○部会長（福沢美由紀君） 櫻木部会員。

○部会員（櫻木善仁君） できたら、どうしてもやっぱり傍聴に来られないけど関わったというか子どもたちを見ておったということを、何か把握できたらええかなと思って。

前は、その場で渡して回答してくださいという状況やったと思うんですけど、例えばQRを載せておいて保護者の方にもしてもらえというんやったらそのほうがええかなと思っただけでね。

○部会長（福沢美由紀君） 渡すのは中学生に渡すということで可能だとは思いますが。

どういう問いにするかは。

今岡副部会長。

○副部会長（今岡翔平君） では、中学生議書を傍聴してとかではなくて、例えば中学生議会を通してとか何か全体、誰に聞いても汎用できるような形にして同じアンケートが打てるようにしておけばそんなに手間はかからないんじゃないかな。櫻木委員がおっしゃる、来られていない保護者さんにも話を聞いてみたいというのは私もいいと思いますので、意見を付け加えさせていただきます。

○部会長（福沢美由紀君） 森委員。

○部会員（森 美和子君） 保護者さんに聞くというのはいいと思いますけど、この保護者アンケー

トは多分、今の内容でね。この内容は、当日の議会の中での改善点みたいな、いや、評価のような気がして、問2とかは、中学生議会を傍聴して、亀山市のまちづくりへの興味・関心は高まりましたか、これはそれぞれの子どもの質問を通して保護者に問いかけているのかなと思うので、多分来られなかった人は自分の子どもの質問しか関わっていないというのか、ちょっとそこら辺の視点が少し違ってくるのかなあと思うので、そこら辺は改善せなあかんのかなあと思いました。

○部会長（福沢美由紀君） 我が子に取り組んだことについて家庭としてどうやったかという問い方にちょっとシフトするかなということですね。ただ、あなたは傍聴しましたかということで、傍聴しての感想は、それはそれをした方についてはいただいてもええように思いますが。

そこも含めてちょっと作り直す、今全部完璧に決めてしまわなあかんですか。後でも。

（「タイムスケジュールですか」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） アンケート。

どうぞ。新山課長。

○議事調査課長（新山さおり君） 8月20日の推進会議で確定したものを出したいというのと、ウェブアンケートの作成もありますので、その時間を26日までには欲しいというのもありますし、できれば今日内容を決めていただけると進められるかなと思っておりますので、お願いしたいと思います。

○部会長（福沢美由紀君） そうですね、分かりました。それでは、ちょっと議論だけ先に進めて、アンケートについてやね。

今ちょっと私、まずは学生へのアンケートについて言いました。学生さんのアンケートはこれよかったですか、まずはそれを固めていきたいと思います。

よろしくお願いします。

大泉事務局長。

○議会事務局長（大泉明彦君） 櫻木議員からあったお言葉の中の一番最後の亀山市議会に対する意見云々、この部分があると思うんですが、去年は亀山市議会に対する意見、要望だったんです。これって、アンケートって、この中学生議会に対してなのかなというところがあってこの今の案は「中学生議会」に、直させてもらって今案を示させていただいておりますので、いや、これはもう「市議会に対する」のが正しいんだということになれば戻しますし、さらにそこに加えて市議会に対する云々がということやったらご議論もいただけたらと思ひまして、申し訳ございませんが、その点お願いいたしたいと思います。

○部会長（福沢美由紀君） ほんまですね。今直っておるな、最初は違ったね、もらったときね。そうなんですね。

前はそれが入っていたということですよ。

大泉事務局長。

○議会事務局長（大泉明彦君） 昨年度は亀山市議会に対する意見ということで問わせていただいております。

○部会長（福沢美由紀君） すみません、調べればいいんですけど、それに対する何か。市議会がするということに意義があるというところで多分入れたんだよね。

言うてもうてもええ。

大泉事務局長。

○**議会事務局長（大泉明彦君）** 今通知を出させていただきまして、それがアンケートなんですが、その今の最後のページです。

（「途中経過、生徒のと親のと、あとはないですかね」の声あり）

○**議会事務局長（大泉明彦君）** 生徒と2か所ですね。生徒側のところの1か所と一番最終ページで保護者のところと市議会に対するというのがございます。

○**部会長（福沢美由紀君）** 亀山市議会に対するって、これは中学生議会に対しての答えやな、①は。私たちの意見に対して、これもそうやな。3番は、それもそうやな、分かりづらかったんやね。分かりづらかったんやねということやね、なるほど。

いかがでございましょうか。

一旦じゃあ引きますか、亀山市議会にといつてあえて質問し直していた部分については混乱を招くので。

でも、今回の議会についてというのを書くところはあるんですよね、それで。ああ、これに変えてもらうたんやな、12に変えてもらったということやね。

では、そういう形でここはよろしいですか。

1つ、これはちょっと大きい命題ですけれども、これからもやったほうがいいと思いますかという問いをしていますね。これからも、中学生議会など子ども議会を開催したほうがよいと思いますかというのが問11にあります。これは問い続ければ続けるほど、ずっとやっていくという形がどんどん出来上がっていくと思うんですけれども、前、1回目が終わったときに議会という形ばかりじゃないよねという議論があったんですね。やっぱり広聴機能として、議会という形じゃなくもっと中学生の声を聞く、あるいは小学生の声を聞くみたいな。今回たくさんの方からお声を聞きましたけど、議会という形じゃない声の聞き方もあるよね。そうすると、それが議会改革ですることなのか広聴広報がすることなのかということも含んでくるとは思うんですけれども、そういうこともあるよねということで一旦議会はお休みしようかということで話が進んだ後、やっぱりしようということになって、ぐうっと急展開してやったというのが今回の2回目なんですよ。

そこは、例えばそういうところも聞き込んでいくような話になるのか。議会をもう一遍やりたいかということで聞くのかというのが私はちょっと。やりたいやりたいという中で、そういう話に前変わりそうになっていたんで、やりたいと言ってらっしゃって、また違う方向というのがどうなんかなという気がしますしとちょっと悩んだんですけど、悩みの意味は分かっていますでしょうか。

森委員。

○**部会員（森 美和子君）** 中学生議会在議場で子どもたちが経験するというのは非常にすごい経験だなと思うんですけど、手挙げ方式で、一部の子だけが経験をしていくということなんですけど、私はそのプロセスとして説明会を議員が行って学校でやった、ああいう説明会って、全ての子どもたち、中学3年生だったんですけど、が参加をしてやるという、ああいう方法というのは物すごく意義があるなと。

もう一つは、中学生だけじゃなくて、じゃあ小学生にも高校生にもそういった意見を聞いていく必要性はすごく感じていますが、いかんせんこの中学生議会に物すごいエネルギーを使っているの、それが果たしてこれからやっていけるのかなということも非常に疑問に思っていますので、ちょうど

部会長からご意見がありましたので、私もちょっとそこら辺の部分はもう一回議論する必要があるんじゃないかなというふうに思っています。

○部会長（福沢美由紀君） 今岡副部会長。

○副部会長（今岡翔平君） 多分問11の答えは、ほぼほぼ9割方開催したほうがいいという答えがもう実際問題返ってきちゃうと思うんですよね。だから多分、フラットに意見を聞きたいアンケートと、やっぱりそやんねという確認の項目があると思うんですけど、多分問11に関してはやっぱりそやんねというアンケートになってしまうと思うんですわ。だから、そういう予想を踏まえてあえてこれを聞くのか。

私なんかはほかの方法であっても毎年絶対子どもたちには関わっていききたいというタイプの人間なんですけど、果たして今回参加してくれた子どもたちとか保護者に、何というんですかね、こういう子どもたちが関わる形を何かしらでもやったほうがいいよねと聞いたときに、そこまでのことを何か答えられるんかなとも思いまして、この形を聞くか、もう抜くかのどっちか、アンケートという形やどっちかになるんかなというふうに思いました。

○部会長（福沢美由紀君） 難しいですね、聞き方が。確かに正直に聞こうと思うとね。

櫻木委員。

○部会員（櫻木善仁君） すみません、例えば今回、議会についてという質問になっているんですけど、これを何といたらええのかな。

例えば、今後もこのような機会があったほうがよいか悪いか、このような機会とするともうちょっと漠としてくるので、議会ということじゃなくて「このような」という、意見を聞くという意味合いでもう少しぼかしていく、言葉をぼかしてしまえば意見を聞くというスタイルにはなるかなと思っています。

○部会長（福沢美由紀君） どうですか。

目的としては子どもたちの声を聞きたいし、それを例えば生かしていきたいし、子どもたち自身が自分たちの意見を出す、表出する場にしてほしいと。子どもたちは意見を出す権利があるよということでやり始めたことですので、そうですね、「このような」か。

よろしくをお願いします。

森副会長。

○副会長（森 英之君） 実際、直近でちょっとご意見をいただいたのが、中学生議会被をされているということが認識のない方ではあるんですけども、中学生から率直な意見を聞いてもらう場をつくってほしいんだということを直接私に言われましてですね。それで、中学生議会被をやっていますということも話をしたんですが、それとは別に、中学生と直接市長と対話をできる場を設けてほしいと、それを引き出せるコーディネーターみたいな方を用意していただいて、意見を引き出すような場をぜひつくってほしいんやということを言われたんですね。ただ私も、中学生議会被というものがあるので、それについて傍聴をまずいただいたらどうですかという話はしたんですけども、そこにはなかなか至らなくて、ただそういうご意見もあるんだなと。それも、中学生議会被はあくまでも中学3年生対象になっているので2年生以下は、横におった中学生は中学生2年生だったんですけど、その中学生2年生も当然3年生になるが、やるということはまだ知らないでしょうし、そういった場面があつて、僕も中学生議会被ということを引き合いには出したんですけども、そこにはちょっと至らなかったと

ということと、中にはそういうことを要望されている方がいらっしゃるんだなというのを思いました。

先ほどの櫻木さんのご意見の中で「このような」という、広く捉えるということ、その手法もいいと思うんですけど、それはすなわちほぼほぼ皆さん、100%近い方がそうすべきやということを答えられると思うんですね。

その答えの中で我々はその答えをどう生かしていくんかということになると、あまりにも広く解釈できることによって、また難しいアンケートの中身になるんじゃないかなというふうに思ったんですね。なので、私は今答えを持っているわけじゃないんですけど、ちょっと参考にしてもらいたいなと思って言わせてもらったんですけど、本当に難しいなと思って今聞かせてもらっていました。

あともう一つ、傍聴者以外の保護者という観点では、一応私も保護者の一人として、私はほとんど関わっていませんけれども、実際のところですね。妻と話をしていた、母親と話しているところではやっぱりきちっとそういう話をやり取りしていましたので、聞いてもらう意味はあるのかなというふうには感じてはいますけど、ちょっとアンケート内容は十分詰めてもらわなあかんと思いますけど、以上、ちょっと参考としてです。

○部会長（福沢美由紀君） 古田委員はどうですか。

お願いします。

○部会員（古田吉昭君） 今、森副会長が言ってもらったように、中学生議会ばかりじゃなくて、このようなというのはいろんな企画があると思うんですよ。そういった大きく捉えてどんな企画がいいですかみたいな感じの聞き方にとすると具体的にならへんかなとも思うんですけれども。

中学生議会というのに絞らんとやっぱり意見交換会とか、市長とのトークとか、いろんな中学生が思うことのこんなことがしたいなというところを聞ける枠をつくればいいのかとも思いますが、それはどうしてですかというところをつければ、より詳しく具体的に聞けるんかなと思います。

○部会長（福沢美由紀君） 亀山市議会としては、若い皆さんからお声を聞きたいということで頑張っておるんやけれども、例えば今回の子ども議会であるとかワークショップであるとか意見交換会であるとか、いろんな方法があると思うんやけれども、こういうことをすることについてどう思うとか、例えばそこで選んでもらうとかもあるんかも分かりませんが、聞き方をどうしたものかな。櫻木委員。

○部会員（櫻木善仁君） 一応問11のところも今後も中学生議会などを書いてあるので、などの意見を聞く機会を開催したほうがいいと思いますかというぐらいにしたら、議会など意見を聞く、などの意見を聞く機会を開催したほうがよいと思いますかという、議会など入っているけど、さらに意見を聞くというところの機会というのも入れたらより分かりやすいんじゃないかなあと。だと、どちらに行ってもいいんじゃないかなというふうに思うんですけど。

○部会長（福沢美由紀君） 森委員。

○部会員（森 美和子君） 今後も中学生議会などの皆さんの声を聞く機会を、そういう形で書いてあげたら。

○部会長（福沢美由紀君） なるほど、今のですみません、よろしいでしょうか、今何かええ感じにまとまったように思いますけどね。今後も中学生議会など、これは子ども向けやで、皆さんの声を聞く機会をつくったほうがよいと思いますかみたいなことでいいでしょうか。

それじゃあ、子どものところはそれでいいですか。

(発言する者なし)

○部会長(福沢美由紀君) それでは、保護者のアンケートはどうでしたかね。

今言うておったね、要するに、一応やってもらった方の家族には聞こうよということについては、皆さん賛成でよかったですか。

(発言する者なし)

○部会長(福沢美由紀君) 聞き方としてはこの問い、傍聴してというのをまず消しますわな、なら傍聴を。

森委員。

○部会員(森 美和子君) 傍聴した方は傍聴した方で。

○部会長(福沢美由紀君) 書くところがある。

森委員。

○部会員(森 美和子君) なのでいいかな。

あと、やむを得ず参加できなかった方のご意見も聞かせてもらいたいという、何かそこを1つ入れてもらったほうがいい。

あと問4も、さっきみたいな形でいいですね。

○部会長(福沢美由紀君) 同じ形ですね。問4を子どもの部分と同じ形に、子どもの意見を聞く機会ということで捉える。そして、中学生議会についてよかった点や改善してほしい点などあればご記入くださいということと、傍聴されましたかということで一遍聞いて、された方については当日のご感想をお寄せくださいみたいなことを入れて。

なら、まちづくりはどうしますか。興味・関心、これをさっきはちょっとこれは違うよなというご意見でしたけれども。なので子どもさんの中学生議会への取組を通して何か感じられたこととかですか。

森委員。

○部会員(森 美和子君) これは前回誰もいなかったんだっけ。保護者さんは1人……。

○部会長(福沢美由紀君) 傍聴しておったのはやね。

森委員。

○部会員(森 美和子君) 1人書いていただいたんかな。

(「傍聴は3人です」の声あり)

○部会員(森 美和子君) 3人、それで書いていただいたの。

(「書いていただいた方は全員ではなかった」の声あり)

(「ほとんどなかった」の声あり)

○部会長(福沢美由紀君) そこまでは……。

はい。新山課長。

○議事調査課長(新山さおり君) 昨年度は傍聴者が大変少なく、保護者の方が。それで傍聴するときには傍聴のお願いで資料を配らせていただいたんですけども、そこでアンケートについてのきちんとした丁寧なご案内がちょっと不足していたかなという反省もございまして、今年は12人お越しいただくことがもう分かっておりますし、傍聴の入り口のところで1人事務局がおるようにしますので、資料をお渡しするときにアンケートについても丁寧をお願いをさせていただくようにしたいなど

は考えておるんですが、いかがでしょうか。

○部会長（福沢美由紀君） 昨年はそういうことであまり答えていただけなかったみたいなので、今年はきちんと取り組みましょうということも含めて問いの在り方ですけども。

問1、お子さんの中学生議会への関わり。でも、全然関わらんだわという親もおるやろうか、どうしたらええんやろう。子どもさんの中学生議会の取組を通して。

森委員。

○部会員（森 美和子君） 問1に関しては運営上、その場で、今回12人来ていただくんやったら改善点とかを教えてもらいたいなあと思いますので、これは傍聴した方に問うというのも一つの方法かなと思います。

傍聴した方は何番、やむを得ず来られなかった方は何番みたいな形にしてやったらいいんじゃないかと。

○部会長（福沢美由紀君） もちろんそのつもりです。どう問うかという文章の問題を今は。

森委員。

○部会員（森 美和子君） いや、傍聴して改善点とかはなかったんかというのはそのまま。

○部会長（福沢美由紀君） これは一番初めに行きますか。うちにいる方にも渡すんやったらこれが1番ですかという。

森委員。

○部会員（森 美和子君） ああ、そういう話ね。

○部会長（福沢美由紀君） お願いします。

古田委員。

○部会員（古田吉昭君） 傍聴された保護者の皆さんと来られなかった人のアンケートを分けることはできますか。

○部会長（福沢美由紀君） はい。大泉事務局長。

○議会事務局長（大泉明彦君） 可能です。4種類になりますけれども、分けることは可能だろうと思います。

○部会長（福沢美由紀君） 古田委員。

○部会員（古田吉昭君） それでは、多分傍聴された方は傍聴しながら書く人もおると思いますんでそこで渡して、来られなかった親御さんには中学生議員の配付物の中に、持って帰る部分に入れて、書いてもらう人は書いてもらったらどうかなと思います。

○部会長（福沢美由紀君） 分けるという案がありました。

ちょっとここはまた暫時休憩して一遍ちょっとまとめ直して、もう一遍させてもらってもいいですか、今日中にしますんで。

（発言する者あり）

○部会長（福沢美由紀君） 一任していただいてもいいね。要はおうちの方に、取り組んで家庭として親としてどうでしたかということも含めたアンケートにしようということですよ、傍聴しようがしまいが。傍聴した方については、当日のことについてちゃんとお聞きしようということですね。それはどんな形になるのか、ひっつけて森さんが言われたように矢印で飛んでいくような形にするのか、別々に分かりやすくするのかということを含めて、今回は櫻木さんにもお世話になっていますけど、

皆さんどういう形ですのか分かりませんが、内容については皆さん、意図についてはご了解いただいたということで、ご一任いただいていいですか。

(発言する者なし)

○部会長(福沢美由紀君) 学校関係者のアンケート、これについてはどうですか。

これも議員が関わったことというのを追加していますね。質問に向けて関わったことについてというのを追加しています。

交流会については出られない学校もあるので。

(「先生」の声あり)

○部会長(福沢美由紀君) 先生、何かどうかなと思って、亀中の先生はいらっしゃらないので。

(「亀中がゼロ」の声あり)

○部会長(福沢美由紀君) そうですね。

(「担当教諭及び学校長、それで教諭のほかはゼロ」の声あり)

○部会長(福沢美由紀君) なので、何か交流会はどうでしたかというのが聞きづらいよねということとで入っておりません。

だから、問5についても同じような形、先ほど子どものところで検討したような形で書くということとでよろしかったですかね。

親だけが市議会について、市、いや、まちづくりか。

先生はまちづくりは別に要らないんですね。

内容的にはそこを足しただけということになりますが、よかったですか。

(発言する者なし)

○部会長(福沢美由紀君) そういうことでちょっとまたご一任いただいて、また皆さんにLINE WORKSとかでお示ししてご意見を伺うということとでよろしいですか。

(発言する者なし)

○部会長(福沢美由紀君) 事務局はよろしいですか、お願いします。

はい。大泉事務局長。

○議会事務局長(大泉明彦君) そうしましたら、案を整えますので、それを部会員の皆様にお送りさせていただいて、ご覧いただきながら、最終的には正・副部会長ご一任という中でご確認をいただくという形でお願いしたいと思います。

ただ、これはインターネットを通じてのアンケートになろうかと思いますが、その方法はそれで。今古田委員のほうからはその途中で云々という言葉もあったと思うんですが、全てウェブ上でええかということを確認だけすみません。

○部会長(福沢美由紀君) 前はそうだったんですね。QRコードをお示ししてお願いしたという形ですけども、保険で紙に書いたものを置いておいてもいいかと思いますが、基本はウェブでということとでよろしいですか。いろんな方がおいでになるのももしかしたら、そのための手だては準備しておくということで、よろしいですか、ウェブでということとは。

(発言する者なし)

○部会長(福沢美由紀君) では、そういうことでまた検討をしますので、お願いしますね。

どうぞ。今岡副部会長。

○副部会長（今岡翔平君） アンケート以外でパネルの資料についても多分聞くとしたらここなんですけど、資料3の1枚目の中部中の西村さんの「埋れる条例の看板」という資料があるんですけど、分かりづらいというのもそうかもしれないんですが、これって条例の看板というものでいいんですかねというところ。だから、正確にいうと、これは条例の看板ではないと思うんですけど。

○部会長（福沢美由紀君） 分からないんですけど、何が埋まっていたのか。
今岡副部会長。

○副部会長（今岡翔平君） 条例の理念を示しているといえは示しているんですけど。

それかでも、議員でも自分で資料を作った場合とかって何か自分なりの解釈を載せていたりすることってあるじゃないですか。何かそれを、そう判断して特に直したりしないという考え方もあるかなとは思うんですけど。

○部会長（福沢美由紀君） 多分、これはお話の中にもちょっとあるのかな。
はい。今岡副部会長。

○副部会長（今岡翔平君） 学校説明会で、我々が事例としてまちをきれいにする条例の話を上げたのでそれに絡めて質問を組み立てているんですけど、多分この看板は亀山市と何でしたっけ。

（「地衛連」の声あり）

○副部会長（今岡翔平君） その看板みたいな、条例がいう概念を示した看板では。

何というんですかね、的外れじゃないけど正確な表現ではないというニュアンスになると思うんですけど。

○部会長（福沢美由紀君） 森委員。

○部会員（森 美和子君） さっきのあれを映してあげたら、本来はこういうふうなのがここで見えておるといふようなのを。

これはちょっとあまりにも、もう本当に埋もれておんのやなというのはよく分かりますけど、何があんのかというのをちょっと示してあげたほうが。

条例というのは、確かに今岡委員が言われるのはそのとおりやと思いますけど、子どもたちが考えてもうここまでできているやつやから、もう今回はこれでいいんじゃないかなと思います。

○部会長（福沢美由紀君） 今岡副部会長。

○副部会長（今岡翔平君） だとすると、新たに我々が何かを提示するのはちょっと。

○部会長（福沢美由紀君） 森委員。

○部会員（森 美和子君） 当然、西村さんにちゃんとお伝えをして、きちっと示してあげたらどうかと思う、西村さんのためにも。あの子は多分、それが見えないということがこの中で言いたいわけやから、それぐらいごみと草で埋もれているということが言いたいわけやから。要らないというなら別にそれはそれでええんやけど、本来これがここに看板としてありますということを示してあげたらいいんじゃないかなと思います。それはちょっとお任せしますけど。

○部会長（福沢美由紀君） ついよりよくと私たちは考えてしまうので、より分かってもらえとええなあというふうで、ちょっとサジェスションをしたい。

いかがですか、文章の中にそれを補完するような言葉があるんであれば。

これはやり出すと、ほかの子でもいろんなことをしたくなってしまってちょっと危険なので。最初の一緒に行っているときにちょっとこういうやり取りができれば、それはそれでよかったんだと思う

んだけど、あると分かりやすいけどね、すっきりするけどね。

じゃあ、このままで見守るということではよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） パネルその他についてはほかにはないですか。

森 瑛都さんののは、①と②は私よう分からのやけれども、両方出すの。

はい。新山課長。

○議事調査課長（新山さおり君） 森さんにつきましては1枚目のほうだけを提示でいいかと思っておるんですが、再度ちょっと最終確認しまして、こちらでパネルのほうも当日お渡しする形になっておりますので確認します。

○部会長（福沢美由紀君） 2つ要るという意味ではなく、ちょっと2つやってみたという感じなんです、どっちがいいかなと。

新山課長。

○議事調査課長（新山さおり君） そうですね、ご本人さんはこちらの1枚目のほうを見て確認をさせていただいておりますが、最終確認しましてパネルにさせていただきます。

○部会長（福沢美由紀君） 色のついておるのが15歳年度末ということなんやな。後が、ないのは18ということやね。

では、どっちか1つという意味だということで確認させていただきました。

ほかはないですか。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） パネルはよろしいな、アンケートもそれでよろしいし、次です。

資料の説明をもう一遍見ていきたいんですけど、今も資料でしたけれども資料5ですね。今資料4がアンケート内容でしたね、資料3がパネル資料でしたね。次に資料5についてを見ていきたいんですけど、これは確認です。

令和7年度中学生議会の参加者名簿です。それぞれ担当の議員も決まっておりますので、間違いがないかは見てもらったんで大丈夫だと思いますけど、確認しておいていただきたいです。

それで、櫻井さんが一応もう欠席という形で追記してもらっています。

それで、櫻井さんが欠席されるということの扱いについて、ここではやっていないのもう一遍確認をしておきたいんですけど。

集まって皆さんにお聞きして確認した内容ですけども、剣道の全国大会でお休みということなんですけれども、これまで取り組んでこられましたので最後まで中学生議員として扱いたまおうということで、当日は議長から理由も含めて欠席の旨は伝えてもらいましょうと、それで議員さんに差し上げるささやかなお土産なんかもほかの方と同じように差し上げましょうと、中学生議会議員さんにね。

質問通告もちゃんと作って出してもらっていますので答弁も執行部からいただいて、議事録というわけにはいきませんが、議事録の巻末に彼の質問と執行部答弁をきちっと資料として入れられるように工夫しましょうということでなんでね。

その旨について学校に連絡をしていただきたいということで、きちんと亀中さんに連絡していただいて。

言うていただこうか、お願いします。

はい。新山課長。

○議事調査課長（新山さおり君） 亀山中学校の校長のほうに確認をさせていただきまして、このような取扱いでぜひお願いしたいということでした。活躍のことについても触れていただき、さらには全て資料にも残していただける、答弁もいただけるということで大変ありがたいということでおっしゃってみえました。以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） ということで、学校にも確認をさせていただいたのでこのようにしていきたいと思います。

執行部にも確認をいただいているということで。

はい。大泉事務局長。

○議事事務局長（大泉明彦君） すみません、執行部については今からになります。

○部会長（福沢美由紀君） そうなんですか。

大泉事務局長。

○議事事務局長（大泉明彦君） 申し訳ございません。

○部会長（福沢美由紀君） でも、もう答弁を書いてもらっていますよね、それを下さるかどうかということですね。

暫時休憩いたします。

午前10時50分 休 憩

午前10時50分 再 開

○部会長（福沢美由紀君） 休憩を閉じて会議を再開いたします。

参加する学生の方もよう活躍しておられる方もあるし、今回は本当に大変な中で議会に取り組んでいただいたなと思っています。そういうことで、欠席される方についてはこのようにしていきましようということで、ここで確認をしたいと思います。

それで次の資料ですけれども、中学生議会の進行順序が資料6にあります。これは事務局を含めた全体の大まかな進行順序になります。

次の資料7が進行次第ということで、これは事務局長による進行次第ということですね、大体ね。

資料8としては、議長の次第です。

櫻井さんの表記も、剣道の全国大会出場により欠席する旨の報告がありましたのでご了承願いますということで追記しております。会議録署名議員が櫻井さんでしたので、亀山中学校にお願いして新たに4番の安藤将希さんを会議録署名議員としてお願いしておりますので、これも変えております。

次なんですけれども、資料9、リハーサルの進行についてです。

ちょっとこれは話合いが前にちょっと中途半端に終わったかなあと思うんですけども、30分ぐらいしかリハーサルの時間がない中で、もう途中で割と議員が入ってきたりでどやどやとする中で、効果的に短時間でびゅっとせなあかんなあということなんですけど、この用紙にとらわれず聞いていただきたいんですけど。

この前皆さんと話し合ったのは、今岡副部会長に全体のリハーサルを取り仕切ってもらいましょうということになっていました。それぞれ上がってこられて、リハーサルでみんなもう議場に入られます。それぞれに担当の議員がついておられると思います。それぞれ着席をしていただいて、大きいこと、いろんなことを今岡議員に説明していただいた後に、ばらけずにそのまんまで、要するに立ち位置か

らどうやって質問席まで行って帰ってくるかというそこら辺がちょっと不安だと思うので、それぞれの学校でのリハーサルはやっていきますけれども、実際の席でのリハーサルをしたいなということなんですけれども。

ばらけて、また何々中学校というて寄せておったら時間がかかりますんで、もう一旦全体を座ってもうたらそのまんまで、議長さんも議長席におってもうて、1番からずうっと最後まで名前を呼んで、手を挙げて「はい」と言うて出ていってという流れを全員そのままやっていただくということでどうかなと思うんですけど、いかがでしょうか。

この書き方やと、何かそれぞれ分かれてまたリハーサルをするみたいな感じになっておったんです。いや、これは全体でしょうよということ言うたらちょっと色が変わって、今岡副部長だけはそのままになっているんですけども、申し訳ないけど、全体を今岡副部長に仕切ってもらおうということにさせていただきたいんですけど、立ったり動いたりも含めてね。

それで各担当の議員がそれぞれの中学生議員にひっついておって、全体のリハーサルが終わって一旦はけたらそこで例えば、それとかはける前とかやね。そこでもして、終わってからアドバイスするようなことがあったらそれぞれの議員から言うていただいたらと思うんですけど、そんな流れでええですか。

前は各学校でのリハーサルだったんですけども、それだと学校によって言う人が違って何だりかんだりということもありましたんで、もうリハーサルは1つということにさせていただきたいんですけども、ご意見はいかがですか。よろしいですか。

だから、皆さんはお迎えに行っていていただくときに一緒に下に行ってもらうんやったかな、担当の議員さんね、どうやったかな。

そうですね、上がっていただいて私はもう皆のお部屋におって、みんなそれぞれ上がってきていただいて、落ち着いたら議場に入ってもらって、今岡議員によって全体のリハーサルを取り仕切っていただいて、ほんで終わったらそれぞれまたアドバイスがあればしてあげるみたいなやり方でいいですか。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） では、そのようにお願いします。

別に亀中担当は誰々とかつけなくていいですか、よろしいよな、顔が分かっていますから。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） じゃあ、そのようなリハーサルのやり方でお願いをしたい。

今岡副部長、よろしいでしょうか。

○副部長（今岡翔平君） 大丈夫です。

○部会長（福沢美由紀君） よろしくをお願いします。

そうしたら、配付資料についてということで、これは中学生たちに自席に配る資料を置いています。私らはあんまりね。通告の一覧とかは大体ある、任命書がそれぞれ置いてあるということでそういうことについても説明をしていただくということと座席表とかがあります。こういうものを配っていただくんだということでご理解ください。

写真撮影ですけども、これも今岡副部長にお願いしたいんですけども。

前は、中学生議員14名と亀山市議会議員と執行部がそのまま自席におって、それで全体写真を

撮りました。

それで、次に何か、市長と議長と中学生みたいなのを撮ってほしいと新聞社側から要望があって、それを1つ入れた上で、ほんでその後は中学生議員だけの写真を撮って、その後は学校別の写真を撮ったという段階なんですけれども。悪いのやけど、今回は後がありますんで、全体写真を撮った後に中学生全体写真を撮って学校別写真を撮るということで、議長、市長、中学生議会というのはこちらとしては想定していないということでよろしかったですかね。

前もしていなかったんですよ、していなかったんですけど、こうしてと言われて巻き込まれてようになったんですけれども。まあ、いい写真を撮っていただいて発信していただくのはいいんですけども、今回はその後がありますんでちょっとそういうことで、ちょっとマスコミ側にもご説明をしておいていただきたいと思います。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） それでいろいろ、立ち位置もう決めてもらってありますんで、この位置図をね。ここについて何かもしご意見があったら今、これでよろしいかということですけど。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） 今岡副部会長の言うことをよく聞いて、さっさと写真が撮れるようによろしくお願いします。議員の皆さんよろしくお願いします。

それで全体の進行表が、細かいのでこういうような進行表がありますということで、また見ておいってください。

一番最後の資料13は、今までの中では特に、ずうっと一つずつ確認してきましたがよろしいですか、流れで行きますよ、資料13がありますね。これは何かというと交流会ですね、意見交流会の案です。

今岡副部会長からちょっとご説明願います。

○副部会長（今岡翔平君） では、資料13をご覧ください。

意見交流会ということで私と、あとは櫻木委員にもアドバイスをいただいて構成をつくらせていただきました。

全部で、書いていただいているとおり、4つの構成になります。

最初が各中学校ごとにまとまってお弁当、大体20分ぐらいあれば食べられるんじゃないかということ20分間。

○部会長（福沢美由紀君） 場所はここやったね。

今岡副部会長。

○副部会長（今岡翔平君） そうですね。

その後は誕生日順で交流ということで、バースデーチェーンというレクリエーションがありまして、言葉を使わず1月から12月まで誕生日順にできるだけ早く並ぶと。1月から4人、4人、4人、3人の4班に分けてグループごとに座ってもらって、好きな食べ物だったり兄弟姉妹やそれ以外のことをテーマに自己紹介、交流をしてもらうという形になります。

2つ目が好きな色で交流ということで、好きな色ごとに班分けをします。好きな色が偏ったりばらなときは近い色を組み合わせる、好きな近い色を組み合わせるということですね。これも4人、

4人、4人、3人の4班に分ける、あれか、櫻井さんがいないので4人、4人、3人、3人になりますかね。グループごとに座って、その色が好きな理由であったりそれ以外のことをテーマに自己紹介をしてもらう形になります。

残りの20分間でディスカッションということで、好きな色の班ごとに各班でテーマについて話し合ってもらうものを用意しました。テーマとしては、無人島に1つだけ何か持っていけるとしたら何を持っていく。テーマの2つ目は、この班で具が1種類のおにぎり屋さんを開くとしたら何の具にするということで話し合ってもらって、各班にシェアをしていただくという形で交流をしていただくという形を取りたいと思います。

以上が案になります。

○部会長（福沢美由紀君） 座席はどんな感じですか。幾つ、島はどんな感じですか。
お願いします。

今岡副部会長。

○副部会長（今岡翔平君） テーブルが4つあればいいかなと思っております。

○部会長（福沢美由紀君） 4つ、例えばこのテーブルを、大人たちもいますけれども。
お願いします。

今岡副部会長。

○副部会長（今岡翔平君） 大人はこの交流会の中には入らないので、中学生だけが座ればいいかなあと思っております。

○部会長（福沢美由紀君） お弁当を食べるときには大人がいるんですけれども。
事務局お願いします。

大泉事務局長。

○議会事務局長（大泉明彦君） 例えば、1で議員さん、子どもさん方が食べて、2、3で4島をつくるという手もあります。

○部会長（福沢美由紀君） ご飯用とアイスブレイク用で部屋を分けられる。
（「配信1部屋、2と3で食べてもらうこともできます」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） どうぞ。大泉事務局長。

○議会事務局長（大泉明彦君） 何度もすみません。今年は傍聴者の方が多いですので傍聴席に座れない方は第1を使ってもらいます。そうすると、お昼で使えるのは2と3になります。2と3を仕切って、2でご飯を食べて、3で島をつくって交流をしていただくという手がございます。

○部会長（福沢美由紀君） 大人は何人でしたか。まず最初の食事時間は大人が。
（「大人は10」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 大人が10、子どもが14、全部で24。

ご飯は口の字ですか。

分けても大丈夫なの、スペースはどうですか、1つの部屋だけでレクリエーションができますか。
傍聴をするための何というのは終わったらすぐに取りれるというわけでもなく、危ないのでそっとしておくんやな。

お願いします。

新山課長。

○議事調査課長（新山さおり君） モニターをここに用意しておいてこちらへ映像を流すように去年もさせていただいたんですが、12人であれば、今のところ傍聴席は16席ありますので入っているんですがこれに学校の先生たちが入ってみえるのと、あと、基本記者席が5席ありますのでそこも活用していただければ入れます。

できたら議場でお聞きいただきたい、臨場感もありますのでそちらで傍聴していただきたいという思いはあるんですが、万が一、急遽ご家族の方ですとかあとはお友達ですとか、夏休み中ですのでお見えになったときに入り切らなかった場合のお部屋を1つ用意してあるということを中学校のほうにも連絡してありますので、ここにモニターを用意して見ていただけるようにはご用意しています。

ただ、当日準備を変えるというのは申し訳ないです。事務局の体制が整わないものですから、できたら前日に準備をしておきたいということでお願いしたいと思います。

○部会長（福沢美由紀君） そうですね、終わったからといって、たつたと切り離せるかというところという人手もないということで、じゃあやっぱりその奥の2つの部屋を使つての交流会ということになります。

面積的には大丈夫ですか、今岡副部会長、1個の部屋ですが。

○副部会長（今岡翔平君） はい、もう机さえあれば特に問題はないと思っております。

○部会長（福沢美由紀君） その準備とかはまた言うてください。

どうぞ、事務局お願いします。

新山課長。

○議事調査課長（新山さおり君） では、準備は前日に行う予定をしておりますので、それまでに簡単なレイアウトですけれどもお示しできるようにちょっと整理して前日の準備は部会員の皆様と一緒にするという形でよろしかったでしょうか。

○部会長（福沢美由紀君） そうですね、部屋全体を動かす形になるので、今はちょっと人手もなかなか不足しておりますので皆さんお時間があつたらね。前日午後に場づくりをしましょうかということになっておりますので、お時間があればよろしくをお願いします。

今確認しましたが、お弁当を食べるところにどんなふうに座るかというのも、ここは子どもが座るところ、ここは大人の座るところみたいなあれがあるのか、そこら辺やな、弁当は一緒ですけど。

どうぞ。大泉事務局長。

○議会事務局長（大泉明彦君） 逆にいかがでしょう。

子どもだけ固めますか、その間に議員さん方にお入りいただく形、案をつくるにしても、どちらがよろしゅうございますやろう。

○部会長（福沢美由紀君） 今日の議会はどうやったという話はそこでしかする時間がございませんので、あとは皆レクリエーションがありますんで、やっぱり間々に入ってもらうのかなと私は勝手に思い込んでいましたけど、ちょっとしゃべれたほうがいいのかなあ、どうですかね。

もう誰々何子ちゃんがここに座るとまでは言わなくても、亀中席と議員席みたいなんで、そこだけでも分かっておつたら。まあ三々五々自分でここが空いておるなと座ることはできるかなあと思うんですけど、そんなんでいいですか。

いいですね。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） では、ちょっとずつ入れてもうて、またお願いしたいなと思います。

遊んでおるとき、大人は参観日みたいにはたで見ておる感じなんでしょうか。

お願いします。

今岡副部会長。

○副部会長（今岡翔平君） 周りで見守ってもらったりとか、テーブルごとで何か話をしているのを聞きに行ってもらったりというようなものを想像しておりました。

○部会長（福沢美由紀君） ちょっと様子を眺めに行ったりしてもいいわけですか、なかなかいい経験だとは思いますが。

先生方にもそのようにお伝えしておかなあかんのやな、でも一緒に入ってしまう先生がいないように、楽しそうですね。

じゃあ、どんなふうな答えをするのかなあ中学生たちはと思ったりしながら、これが終わるまで部会員もおっていただくということでよろしいですか。

（「はい」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 何かほかに確認したいことはありますか。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） ないようでしたら、本日ご確認いただいた内容、そしてアンケートをもう一遍整えますけれども、それについて8月20日に開催する議会改革推進会議で全議員に私のほうから説明させていただき、決定していただきます。

次に、4. その他の項でございます。

次の開催についてですが、9月定例会終了後、10月上旬には1年間の議会改革の取組についてのまとめを行うため、会議を開催したいと思います。

開催日程ですが、10月20日月曜日、議会改革推進会議までに開催する必要があります。調整させていただきたいんですけど今のところ、見させていただいたら10月9日の午前からと午後から、10月17日の金曜日午後からがあります。資料などの整え方によっても変わってくると思いますが、できるだけ空けておいていただくでいいですか、今からこの日にしましょうと決めますか。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） どうでしょうか、この日は困るとかこの日にしてほしいとかいうのがありましたらお伺いしますけど。

9日でも資料は整えられますかね。17日にしておきますか。

（「はい」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） ちょっと今は何か、人手も足らへんし。

17日の午後、13時になっていますね。

皆さんは大丈夫やと思ってこれを入れてもろうたんですよ、予定も。

（「LINE WORKS上で確認したらよろしいと」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） そうですね、そういうことで検討部会は17日の午後1時ということで、皆さんすみません、ご予定をいただきたいと思います。

今中学生議会でいっぱいだったんですけども、いろいろ手がけ始めた条例のこととか、PTでやりましょうと言うてやりかけたことがちょっと中途半端になっていますね。そんなんをどん

なふうにこれから進行していくんかということも含めて一体、この1年間はね。こういう課題が残っているよねということもあるし、あと改選の1年間になりますんで、いつも改選時期にやっている2委員会、3委員会とかそういうことももしかしたらやっていかんなんことがあるやもしれませんので、またよろしく願いをいたしたいと思います。

P T、今まで条例については当日半分半分してその日にみんなで集まってやるというやり方について、あれを続けていくのでいいのか、またはもっとゆっくりしたいわという声が内々ではちょっとあったりもするらしいので、そこら辺についてはまたご意見を頂戴できればなあと思っています。条例は何とか進めたいですので、メンバーはこれと変わりませんので、2年任期でこれからも進めていきますので、進め方についてもまた次のときにご意見を賜ればなあと思っています。

ですから、だから今度1時にするということは、P Tをしないですということになるのか、このまとめということだけに特化して、中途半端ですけどここままで、やったねということで1年間のまとめをするということでもいいの。今までは、これをするときに半分してとか何かそういうのもありましたけど、そんでよろしいの。

事務局、お願いします。

大泉事務局長。

○議会事務局長（大泉明彦君） 10月17日につきましては、中学生議会のアンケート結果もございます。ここで出させていただこうかと思います。

それと、1年のくくりというところら辺のこともございますれば、この17日についてはその2つを中心にとということでお世話いただけたらと思います。

○部会長（福沢美由紀君） じゃあ全員で議論するということを中心に、1時に集まっていたきたいと思います。

本日の案件は以上でございますが、何かほかにありませんか。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） ないようでしたら、休憩もなしですみませんでしたけれども、以上で議会改革推進会議検討部会を閉会いたします。ありがとうございました。

午前11時16分 閉 会

この会議録は正当であることを認め、ここに署名する。

令和 7 年 8 月 18 日

議会改革推進会議検討部会長 福 沢 美由紀